

ポスト暫定措置のあり方討議

事務局長会議で各地域の考え方 2月15日・東京で

全海運は2月15日、東京・平河町のホテルルポール麹町で所属18会員組合の事務局長会議を開催した。今回の参加者は所要により欠席した1組合を除く17会員組合の事務局長17名で、藤井肇全海運会長と寺岡洋一、原田勝弘、藏本由紀夫、岡田俊夫4副会長の執行部に中島繁専務理事以下、事務局員で、テーマは「内航海運暫定措置事業終了後の組合組織のあり方について」に絞られ、各地域でこれまでに検討されて来たことについて披瀝され、熱心な討議が交わされた。

所属各組合ともまだ内部での方向づけが十分でないため、今回は途中経過としての報告と意見交換にとどまり、全海運としての方向づけは今後に持ち越されたが、予定では平成35度、あるいは収支状況次第で32～33年度で終了する暫定措置事業後の組合活動のあり方について今後、活性化プロジェクトチーム等でさらに議論を深めることとなった。



藤井肇会長 寺岡洋一副会長 原田勝弘副会長 藏本由紀夫副会長 岡田俊夫副会長 中島繁専務理事



【全海運事務局】左から山田龍美顧問、高田壽総務課長、中島繁専務理事、米山龍雄次長、高橋徹業務課長、荒木正己企画課員



【出席した所属会員組合事務局長】 ①山口裕文 北海道内航海運組合専務理事 ②木村誠 東北内航海運組合専務理事 ③早見和夫 新潟内航海運組合事務局長 ④矢野和義 関東沿海海運組合専務理事 ⑤狩野匡由 横浜地方海運組合専務理事 ⑥三沢昌子 千葉内航海運組合事務局長 ⑦浅場幸夫 静岡県内航海運組合事務局長 ⑧伊藤伊三夫 中部沿海海運組合専務理事 ⑨二宮勉 東海内航海運組合専務理事 ⑩香川幹夫 大阪海運組合専務理事 ⑪中田治重 日本沿岸曳船海運組合事務局長 ⑫内藤恒夫 兵庫海運組合専務理事 ⑬紺野剛 和歌山県海運組合専務理事 ⑭末光文明 中国地方海運組合連合会専務理事 ⑮貞廣恵三 四国地方海運組合連合会事務局長 ⑯山口茂樹 九州地方海運組合連合会専務理事 ⑰金城誠輝 沖縄地方内航海運組合専務理事